

NAS Center

Net-ADM

3

サーバ・PC・ネットワーク
統合運用管理ツール

nuri
TELECOM

NAS Center



Net-ADM



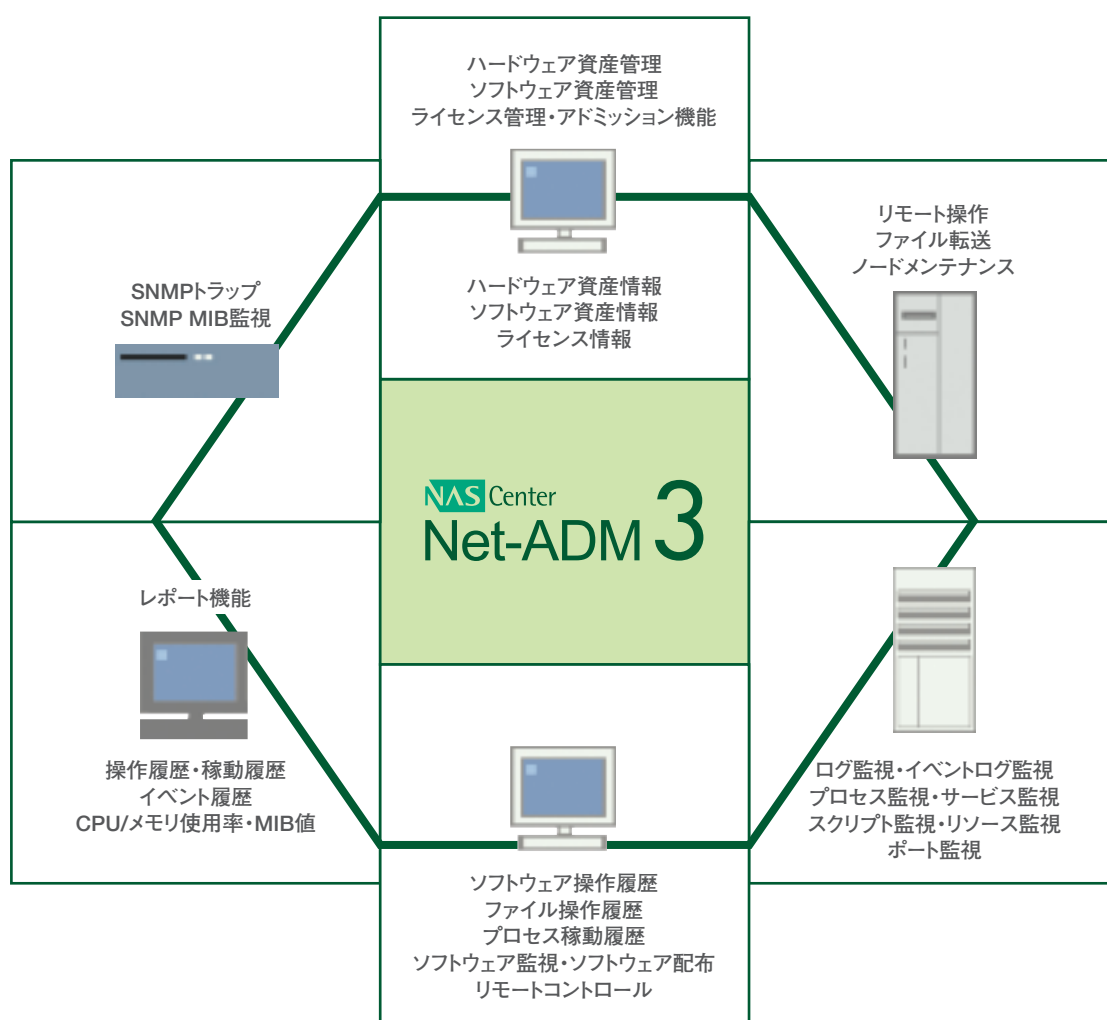
3

NAS Center Net-ADM 3 サーバ・PC・ネットワーク 統合運用管理ツール

日々進化するIT環境、セキュリティ対策、企業を取り巻くIT統制の流れなど、システムの日々の運用は複雑になっていくばかりです。運用を任されている皆様は、多種多様な機能を実現するために数多くのソフトウェアを導入され、その結果、道具であるはずのソフトウェアの運用に日々追われているのではないのでしょうか？

企業の安全や統制などいろいろな要件にあったシステム環境が次々に構築されています。但し、IT環境の基礎の基礎は、コンピュータ1台1台であり、それをつなぐネットワークです。Net-ADMは、この基盤の環境を正確に、リアルタイムに把握し、管理・監視を行うソフトウェアです。

Net-ADMは、“シンプルオールインワン”をコンセプトに、IT基盤にとって必要不可欠な道具としてさらに便利に、そしてさらに安全なシステムへと進化しています。



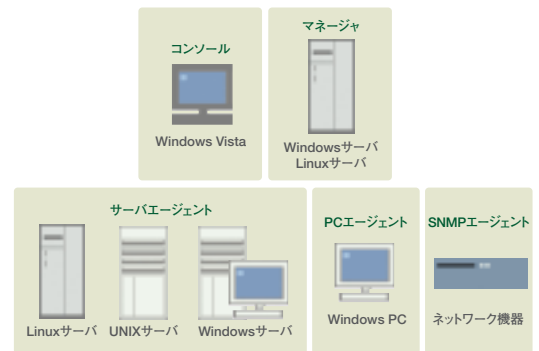
- Net-ADMは、システム管理の基本となるサーバ・PCのハードウェア資産情報・ソフトウェア資産情報を収集、管理します。Net-ADMでは、OSの種類にかかわらず、すべて同一の操作で資産情報の管理を行うことができます。
- セキュリティ対策の一環として、収集した資産情報をもとにPCが正しい状態であるかどうかを判断し、使用者や、管理者へ通知を行うことが可能です。
- サーバ監視に必要な、リソース監視・プロセス監視・ログ監視などはもちろん、個別の要求に応えることのできるスクリプト監視も提供され、Windows、Linux、UNIXのサーバを一括して管理することができます。SNMPエージェントを搭載したネットワーク機器の監視もNet-ADMの機能です。

シンプルオールインワン

使いやすいこと、そして分かりやすいこと、それがNASCenter Net-ADM V3のコンセプト

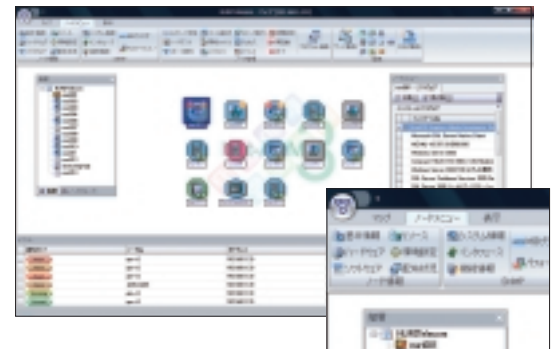
使いやすさの基本

Net-ADMは一つのコンソールから、サーバ、PC、ネットワークの監視・管理・情報収集を行うことのできる統合監視ソフトウェアです。Net-ADMは、サーバにはサーバエージェント、PCにはPCエージェントを導入するだけです。ネットワーク機器の監視はそれぞれの機器に準備されているSNMPエージェントを使用します。



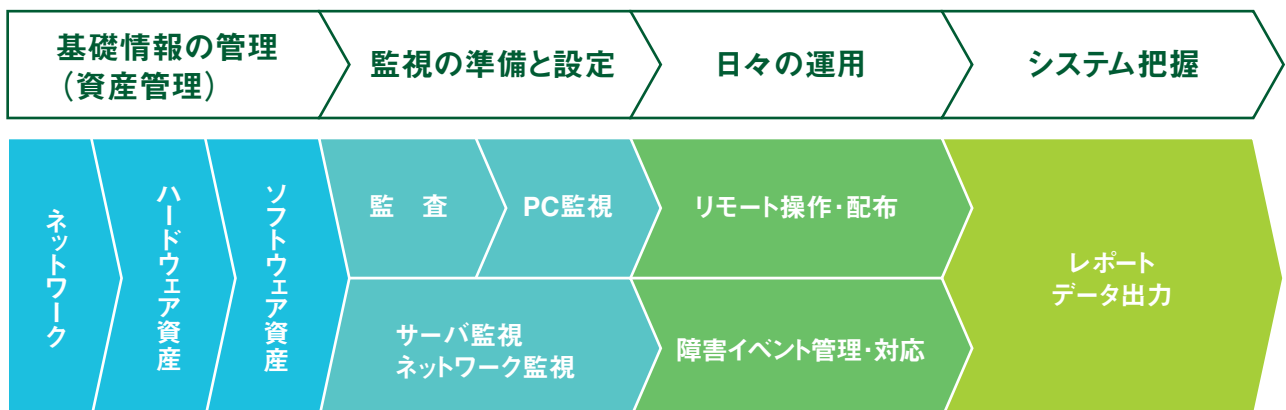
分かりやすさの基本

皆様が行う日々の操作をより“連続的に”、“少ない操作で”実施できるように、“ドッキングウィンドウ”や“リボンインタフェース”を採用することで、“分かりやすさ”を追求しました。たくさんの機能を視覚的に分かりやすく配置し、「したいこと」を「少ないステップ」で実行できるコンソールです。



シンプルオールインワンで実現する運用のライフサイクル

サーバの障害管理やPCの操作ログ管理を行うためには、まず対象の機器を把握し、その上で目的の機能を動作させなければ正しい情報とはいえません。そして、その環境を日々の運用操作で継続して管理していく必要があります。Net-ADMは、まず対象の資産を正確に把握し、ネットワークの状況を管理し、そして目的の運用機能を動作させることができます。



管理操作のログ、通信・設定ファイルの暗号化など

新しいIT環境を管理・監視するためのNASCenter Net-ADM V3

IT環境を管理するソフトウェアが、セキュリティホールにならないようNet-ADMはマネージャ・エージェント間の通信内容及びシステム設定ファイル、データファイルの暗号化を行っています。また、システムを操作する権限をもつ運用管理ソフトウェアだからこそ、コンソールの操作ログを採取し、管理者が正しく運用していることを証跡として残すことが可能です。また、管理者レベルの設定により、コンソール表示機能を限定することが可能です。

ネットワーク・ハードウェア資産管理

資産管理でもサーバ監視でも、監視を行う対象機器を正確に把握することが基本と考えています。マップ画面へ対象機器を登録し、稼動状況の管理を行います。

マップウィンドウで構成を管理

Net-ADMを導入して、自動検索を実行すると、エージェントの導入されたサーバやPCはエージェント搭載機として、それ以外の機器は非搭載機としてマップ画面に自動的に登録することができます。数千台のPCの登録も正確に手をかけずに実施できます。自動検索の方法としてIPアドレスの範囲を指定して検索する方法と、エージェントから通知を行う方法を準備しています。管理を行うPCだけを登録したい場合は、この方法を使用して自動的に登録することができます。

Q 登録後にIPアドレスを変更すると別のPCとして管理されませんか？

A IPアドレスの変更やコンピュータ名の変更があっても管理対象のPCやサーバは1台の機器として管理することができます。また、IPアドレスの変更や名前の変更を監視することもできます。



マップ画面

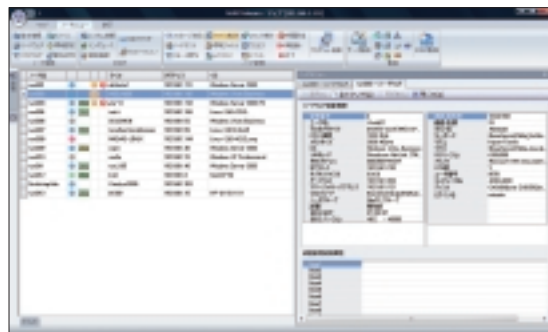
マップ画面は目的に合わせて複数作成することができます。管理台数が多い場合や設置場所が離れている場合などはサブマップを作成し階層化して管理することもできます。

ハードウェア資産情報の自動収集

マップ画面へPCやサーバを登録すると、ハードウェア資産情報やソフトウェア資産情報が自動収集されます。

Q 一覧画面の並び替えはできますか？

A OS別のハードウェア一覧表示が行えます。一覧の横にそれぞれのノードの詳細な情報が表示されます。ハードウェア資産情報と、ソフトウェア資産情報、また、監視設定を行っている場合は、この画面から設定内容の確認・変更が行えます。



資産情報の表示画面とノード情報の表示画面

マップ画面の表示から、一覧画面への切り替えができます。また、ノードを選択して、そのノードの情報や資産情報を確認することができます。

ネットワーク機器を含めた統合管理

Net-ADMの提供するPCエージェントやサーバエージェント以外に、標準のSNMPエージェント対象機器の監視・管理を行うことができます。

Q ネットワーク機器の稼動監視はどのように設定するのですか？

A サーバやPC、ネットワーク機器がマップ画面に登録されると、その登録時に動作しているエージェントの種類によって最適なポーリング監視の設定が行われます。稼動しているか、稼動していないかを監視するポーリング監視は登録後自動的に開始します。ICMP対応機器はICMPポーリング、SNMPエージェント搭載機はSNMPポーリングが実施されます。エージェント搭載機はエージェントの稼動も監視します。



ノードを選択して、監視内容の設定や、監視のON/OFFの切り替えもこの画面から実施できます。

基礎情報の管理 (資産管理)



ソフトウェア資産情報の管理

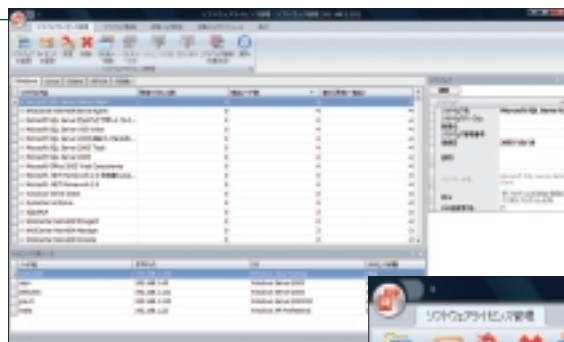
導入されているソフトウェアの情報を収集することで、必要なセキュリティパッチの適用状況や、必須ソフトウェアの導入状況の確認が行えます。

ソフトウェア資産情報の自動収集

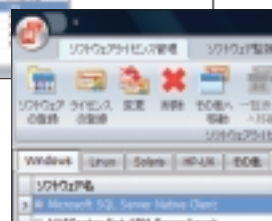
Net-ADMではWindowsのみでなく、Linux・UNIXサーバも自動収集の対象です。PCやサーバにインストールされているソフトウェアの名称を収集します。

Q ライセンス管理はできますか？

A 組織図の機能を使用し、組織毎にPCを登録すると、その組織にどのソフトウェアが何本インストールされているかという情報を管理することができます。また、本数超過時に管理者に通知を行うことができます。また、複数種類の名称を一つのグループとして管理することもできます。



ソフトウェアライセンス管理の一覧画面
ソフトウェア名一覧とそのソフトウェアがインストールされているPCやサーバが表示されます。



監視の準備と設定



PCの監査機能

監査の機能を使用して、PCのソフトウェア・ハードウェア情報を確認し、企業で使用するPCが正しい状態かどうかを判断することができます。

アドミッションサービス機能

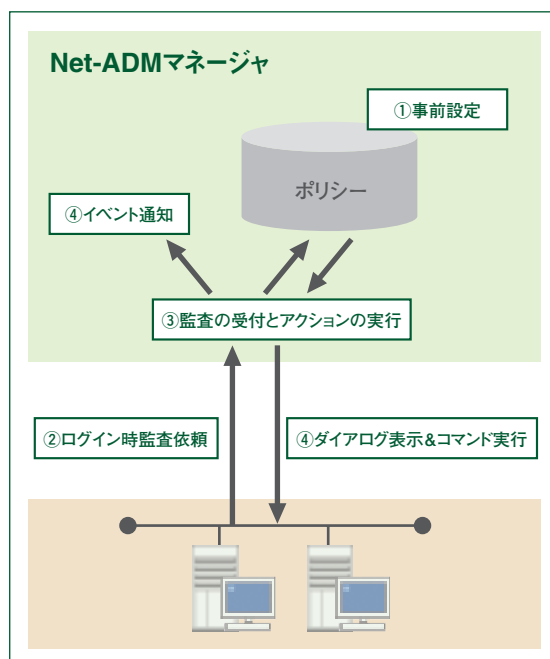
ソフトウェア資産情報やハードウェア資産情報を条件として設定し、その設定に違反した場合に、コンソールへのイベント通知やコマンドの実行、PCへのダイアログ表示などを行うことができます。例えば、必要なセキュリティパッチがインストールされていない場合や、ウイルスソフトのバージョンアップが実施されていない場合などに、ユーザに警告することができます。また、ネットワーク機器のコマンドなどを活用し、条件を満たした場合のみ接続を許可するという仕組みを構築することも可能です。

Q PCへのログイン、ログアウトの時間を管理し、PCの使用状況を把握することは可能ですか？

A 可能です。ログイン、ログアウトの時間、ログインしたユーザ名を把握できます。

Q セキュリティパッチが適用されていないPCの使用者に警告メッセージを表示し、実施を促すことは可能ですか？

A 可能です。認証スイッチなどと連携することによって、社内ネットワークへの接続を制限・許可することも可能です。



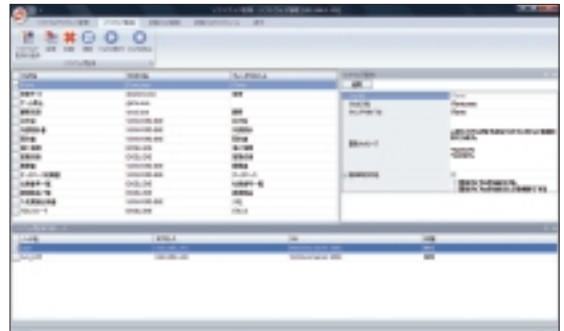


PC監視

PCの使用者が、どのように操作を行っているのか、操作ログを採取し監視することができます。

プロセス稼動履歴

Windows上で稼動したプロセスの開始、終了時刻、実行ユーザ名などの情報を採取します。業務プログラムの使用状況を調査するなど統計情報の採取などにも活用できます。



ソフトウェア操作履歴

Windows上でウィンドウがアクティブウィンドウになった時刻、アクティブウィンドウのタイトルが変わった時刻、アクティブウィンドウでなくなった時刻の履歴を採取します。ユーザがどのような操作を行っているかを判断することができます。

ファイル操作履歴

Windows上でのファイル操作や印刷の履歴を採取します。ユーザの使用内容を把握することができます。

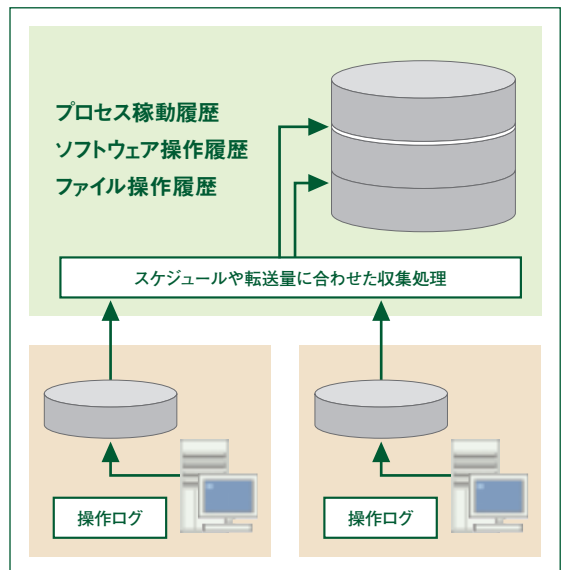
ソフトウェア監視

プログラムの実行を監視します。特定のプログラムが実行された時に、以下のアクションを起こすことが可能です。

- コンソールにイベント通知する。
- 起動したPCの画面にメッセージを表示して警告する。
- 起動したPCの画面にメッセージを表示し、プログラムを強制終了する。

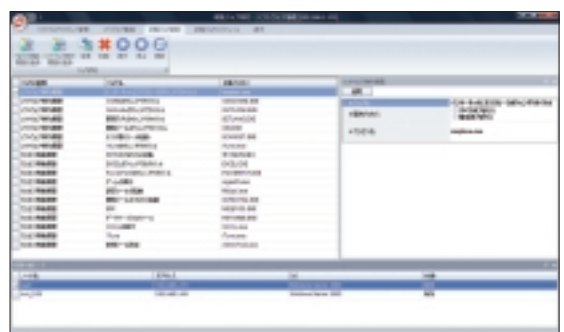
Q 特定のWEBサイトを閲覧禁止にすることはできますか？

A ウィンドウタイトル名の採取が行えます。特定の名称やアドレスを含む場合に、強制的に終了させることができます。



履歴情報の収集

プロセス稼動履歴およびソフトウェア操作履歴・ファイル操作履歴の情報はエージェント上に一旦ログファイルとして保存されます。収集のタイミングを運用に合わせて設定します。一定時間毎や特定の時間など、PCの使用状況にあわせて設定することができます。





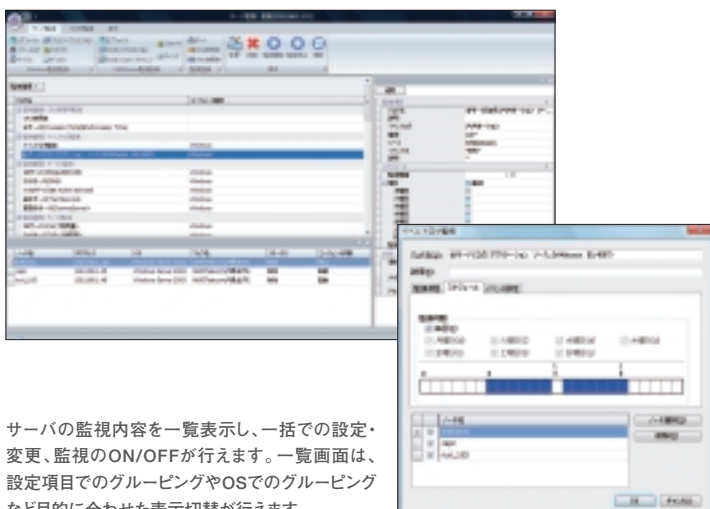
サーバ監視・ネットワーク監視

統合管理ツールの良さは、サーバ上のOSやアプリケーションの稼動監視とSNMPを使用したネットワーク監視、そして搭載されているソフトウェアの確認や、リソースの監視などがすべて同一の画面で、同じ管理情報を使用して実施できることです。

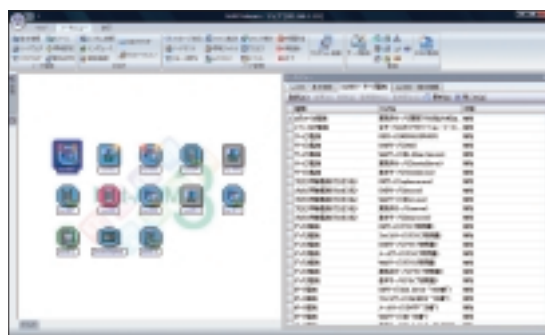
機能		説明	Windows	Linux/UNIX	ネットワーク機器
ICMP ECHO監視		管理対象の死活を監視します。	○	○	○
SNMPトラップ監視		SNMPトラップを受信し、その内容をNet-ADMのイベントに変換します。	○ SNMPエージェントが必要	○ SNMPエージェントが必要	○ SNMPエージェントが必要
SNMPしきい値監視		SNMPの任意のOIDに対してしきい値を監視します。	○ SNMPエージェントが必要	○ SNMPエージェントが必要	○ SNMPエージェントが必要
ログファイル監視		管理対象のシステムログや各種アプリケーションが出力するログを監視します。	○	○	—
プロセス監視 (コマンドライン監視)	同時実行数監視	指定したプロセスの同時実行数を監視します。	○	○	—
	CPU使用率監視	指定したプロセスのCPU使用率のしきい値と超過回数を監視します。	○	○	—
	稼動中プロセス数監視	システム全体の総プロセス数を監視します。	○	○	—
リソース監視	CPU使用率監視	指定したしきい値と超過回数を監視します。	○	○	—
	メモリ使用率監視	指定したしきい値を監視します。	○	○	—
	ディスク使用率監視	指定したしきい値を監視します。	○	○	—
イベントログ監視		Windowsのイベントログの種類、ID、説明などを監視します。	○	○	—
サービス監視		Windowsのサービスプログラムの稼動状況を監視します。	○	○	—
ポート監視		指定したTCPポート番号の稼動状況を監視します。	○	○	—
スクリプト監視		ユーザ作成のスクリプトを定期的に起動し、実行結果をしきい値監視します。	○	○	—

Q 監視対象の時間帯と監視対象外の時間帯を設定することができますか？

A 設定画面で対象時間と対象外の時間を設定できます。



サーバの監視内容を一覧表示し、一括での設定・変更、監視のON/OFFが行えます。一覧画面は、設定項目でのグルーピングやOSでのグルーピングなど目的に合わせた表示切替が行えます。



マップウィンドウや一覧の画面で対象のサーバを選択すると、使用できる機能のボタンがアクティブになりますので、対象サーバのOSに合わせた設定画面が表示されます。



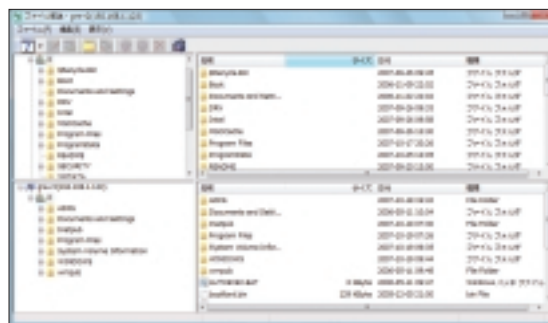
リモート操作・配布

障害発生時などに遠隔地からサーバやPCのメンテナンスを行うための道具、多数のPCの一括設定変更などを行うための道具が準備されています。

ファイル転送機能

Linux、UNIXサーバが対象の場合は、コンソールから、マスタサーバ、リモートサーバ間のファイル転送が可能です。ファイル転送、ファイルの削除やファイル属性の変更なども実行できます。

PCやWindowsサーバの場合は、コンソールとの間でファイル転送を行います。ファイル転送のプロトコルは、Net-ADMの暗号化された通信機能を使用していますので、FTPプロトコルを閉じた環境でも使用可能です。



リモートコマンドの実行

エージェント上で実行するコマンドをコンソールに登録しておきメニューから実行することができます。定型的な運用操作や、障害発生時の対処などを登録しておくことができます。

ノードメンテナンス機能 (ファイルの配布とコマンド実行)

エージェント搭載機のシステム環境の一斉更新などのために、ノードメンテナンス機能が提供されています。

複数のエージェント搭載機を選択し、ファイル転送とコマンドの実行を逐次実行します。アプリケーションの設定変更などでも使用できます。

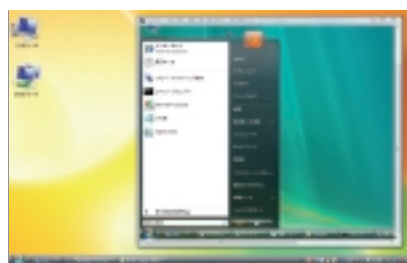


Q PCの設定を一括で変更したいのですが、配布以外の方法はありませんか？

A 設定を行うスクリプトを作成し、そのスクリプトをファイル転送し、実行することができます。PCだけでなくサーバでも使用が可能です。

WindowsPCのリモートコントロール

リモートコントロール機能は、エージェントのデスクトップをコンソール上に表示することによって、マウスやキーボードの操作を直接行います。



リモートコントロール

PCのデスクトップ画面をコンソール上に表示し、マウスやキーボードの操作を遠隔から行うことができます。

WindowsPCへの配布機能

コンソールでパッケージを作成し、PCへ配布を行います。リトライの有効期間設定や強制配布の実行が行えます。


Q PCにセキュリティパッチが適用されていません。確実に適用する方法はありますか？

A まず、ソフトウェア資産情報の収集を行い、必要なパッチがあたっていないPCを洗い出します。それらのPCに対してソフトウェア配布を行うことでパッチを確実に適用することが可能です。Net-ADMには、ソフトウェアの配布のみでなく、リモートコントロールや、コマンド実行、ファイル転送などの機能が準備されています。これらの機能を組み合わせて運用することができます。




障害イベント管理・対応

サーバ監視、ネットワーク監視などのすべてのイベントを統合管理します。

イベントウィンドウに、イベントの一覧が表示されます。イベントの発生をノードアイコンの上部にイベントマークアイコン  で表示します。イベントウィンドウから特定ノードの情報を確認することが可能です。

Q イベント受信時にアクションの設定は可能ですか？

A Net-ADMでイベントウィンドウに表示されるイベントにはすべてアクションの設定が可能です。アクションは、メールの送信や、マネージャでのコマンドの実行、コンソールへのダイアログの表示などに加え、エラーの発生したサーバ上でのコマンド実行も可能です。

Q マップ上のノードアイコンに表示されているイベント発生アイコン  は、どうやったら消えますか？

A イベントの確認を行うと消えます。複数のイベントが発生している場合は、一括で確認操作を行うこともできます。



エージェントから通知されるイベントが、ネットワーク障害などでマネージャへ通知されなかった場合、エージェント側に一時的に保存され復旧後に再送することができます。

システム把握

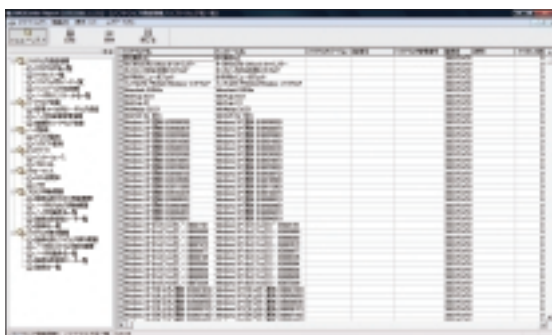


レポート・データ出力

イベント履歴や各種レポート機能が提供されています。また、大量のデータを収集・保存する運用を行う場合は、ガベージ機能を活用して定期的に出力行って行くことができます。

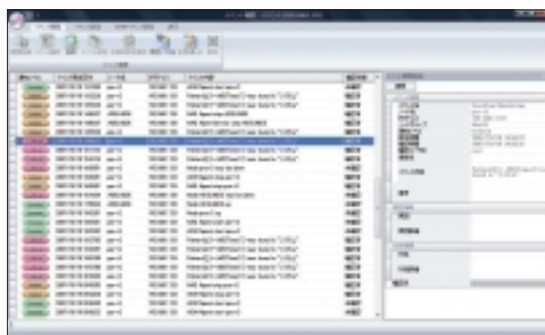
レポート機能

ハードウェア資産情報、ソフトウェア資産情報の出力が行えます。リソース監視やスクリプト監視などで収集したデータのレポート表示も行えます。



イベント履歴

過去に発生したイベントの検索を行います。



ガベージコマンド機能

性能情報や稼動履歴など蓄積されていくデータを、データベースから一括して削除・出力する機能です。削除と同時にCSVファイル形式での出力やデータベースへの出力が行えます。長期間のデータを保存する場合などは有効に活用できます。

Net-ADMコンソールの操作ログ採取機能

コンソールを使用してどのような操作を行ったかのログを採取できます。障害追及時のオペレーションを後から確認することができます。また、不正使用などの防止につながります。

NASCenter Net-ADM V3 提供機能

		エージェント			
		PC	Windowsサーバ	Linux UNIX	SNMP
ネットワーク・ハードウェア 資産管理	ノード自動検索機能	○	○	○	○
	エージェント通知によるノード登録機能	○	○	○	
	IPアドレスの変更通知	○	○	○	
	ノードのポーリング監視 (ICMP.SNMP)	○	○	○	○
	SNMP標準MIB・MIB II の性能状況表示、しきい値監視、構成情報表示				○
	MIB値収集、しきい値監視 (MIB, MIB II, 企業固有MIB)				○
	SNMPV1,V2cトラップ受信				○
	ハードウェア資産情報の収集	○	○	○	○
	ハードウェア資産管理情報の登録、使用期限の管理と通知	○	○		
	CPU、メモリの性能状況、ディスクの使用率の表示	○	○	○	
システム監視	プロセス監視 (同時実行数、プロセスのCPU使用状況)		○	○	
	サービス監視 (サービス名指定によるサービスの状態監視)		○		
	ログファイル監視 (テキストファイルの文字列監視)		○	○	
	イベントログ監視 (イベントログ種類、種類、ソース、IDなどの指定)		○		
	スクリプト監視 (エンドユーザ開発スクリプトによる監視とデータ蓄積)		○	○	
	リソース監視 (CPU、メモリ、ディスク)		○	○	
	監視項目の一括設定・変更		○	○	
	マネージャからのポート監視 (TCP)		○	○	
イベントコンソール	イベント発生時のメール、ダイアログ表示、コマンド起動	○	○	○	○
	イベントフィルタリング機能	○	○	○	○
	イベント履歴からの検索機能	○	○	○	○
ソフトウェア資産管理 ライセンス管理	ソフトウェアのインストール状況の自動収集	○	○	○	
	ソフトウェアの使用期限管理と通知	○	○	○	
	組織別、購入単位のライセンス管理	○	○	○	
	ライセンス本数と導入ノード数の管理、ライセンス数超過時の通知	○	○	○	
管理者セキュリティ機能	管理者レベル設定や管理者ログイン履歴※	○	○	○	○
	コンソール操作ログ採取	○	○	○	○
レポート機能	機器 (ノード) 一覧出力、収集した性能情報などの出力、ライセンス情報、ソフトウェアインストール状況などの出力	○	○	○	○
操作支援・リモート操作	ノードテスト (Ping, SNMP, TCP, TraceRt) の実行機能	○	○	○	○
	ノードポップアップメニューへのプログラム登録	○	○	○	○
	メッセージ送信 (特定、全ノード)	○	○		
	リモート画面制御 (リモートコントロール)	○	○		
	リモートコマンド実行	○	○	○	
	起動中プロセスの一覧表示、再起動	○	○		
	時間設定、システム再起動・終了	○	○		
	ファイル転送 (コンソール、エージェント間)	○	○		
	ファイル転送 (エージェント、エージェント間)			○	
	レジストリ編集、環境設定ファイル編集	○	○		
	ノードメンテナンス機能 (ファイル転送とコマンド実行の逐次実行)	○	○	○	
稼働履歴・操作履歴	プログラム (プロセス) の実行開始・終了時間の履歴情報収集	○	○		
	ウィンドウプログラムの実行開始・終了時間、タイトル名の履歴情報収集	○	○		
	プログラムの実行禁止、実行時イベント通知	○	○		
	ログイン・ログアウトの時刻やログイン名のイベント通知	○	○		
	ファイルのコピー・削除などの操作履歴収集	○	○		
配布	PULL・PUSH型、スケジュール配布・即時配布の実行	○	○		
アドミッションサービス機能	アドミッションポリシーの定義 資産情報による監査実行	○	○		

※ 管理者レベル (コンソール表示機能) のカスタマイズは別途有償のサービスとなります。

NASCenter Net-ADM V3 対応プラットフォーム

<p>Windowsマネージャ</p> <p>Windows Server 2003 Standard Edition Service Pack2 Windows Server 2003 Standard x64 Edition Service Pack2 Windows Server 2003 R2 Standard Edition Service Pack2 Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition Service Pack2 Windows Server 2008 Standard (x86, x64)</p> <hr/> <p>CPU 2GHz以上 (推奨)</p> <hr/> <p>RAM 2GB以上 (推奨)</p> <hr/> <p>HD容量 800MB以上 (データ保存期間/使用機能に依存します)</p>	<p>Linuxマネージャ</p> <p>Red Hat Enterprise Linux 5.1 Red Hat Enterprise Linux 5.1 for AMD64/Intel EM64T</p> <hr/> <p>CPU 2GHz以上 (推奨)</p> <hr/> <p>RAM 2GB以上 (推奨)</p> <hr/> <p>HD容量 800MB以上 (データ保存期間/使用機能に依存します)</p>
<p>Windowsマネージャデータベース</p> <p>Microsoft SQL Server 2005 Workgroup/Standard/ Enterprise Edition Service Pack2 Microsoft SQL Server 2008*</p>	<p>Linuxマネージャデータベース</p> <p>PostgreSQL 8.1.9</p>
<p>コンソール</p> <p>Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise Windows Vista Ultimate x64/Business x64/Enterprise x64* Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise Service Pack1* Windows Vista Ultimate x64/Business x64/Enterprise x64 Service Pack1* Windows Server 2003 Standard Edition Service Pack2 Windows Server 2003 Standard x64 Edition Service Pack2* Windows Server 2003 R2 Standard Edition Service Pack2 Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition Service Pack2* Windows Server 2008 Standard (x86, x64)*</p> <hr/> <p>CPU 2GHz以上 (推奨)</p> <hr/> <p>RAM 2GB以上 (推奨)</p> <hr/> <p>HD容量 50MB以上</p>	
<p>Windowsサーバエージェント</p> <p>Windows 2000 Server Service Pack4 Windows Server 2003 Standard Edition Service Pack2 Windows Server 2003 Standard x64 Edition Service Pack2 Windows Server 2003 R2 Standard Edition Service Pack2 Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition Service Pack2 Windows Server 2008 Standard (x86, x64)</p>	<p>PCエージェント</p> <p>Windows XP Professional Service Pack2 Windows XP Professional Service Pack3* Windows XP Professional x64 Edition Service Pack2 Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise Windows Vista Ultimate x64/Business x64/Enterprise x64 Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise Service Pack1* Windows Vista Ultimate x64/Business x64/Enterprise x64 Service Pack1* Windows Server 2003 Standard Edition Service Pack2 Windows Server 2003 Standard x64 Edition Service Pack2 Windows Server 2003 R2 Standard Edition Service Pack2 Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition Service Pack2 Windows 2000 Professional Service Pack4 Windows Server 2008 Standard (x86, x64)</p>
<p>Linuxサーバエージェント</p> <p>Red Hat Enterprise Linux Version 4/4.5/4.6/5/5.1 Red Hat Enterprise Linux Version 4/4.5/4.6/5/5.1 for AMD64/Intel EM64T turbolinux 10 server Asianux Server 3* CentOS 4.5* CentOS 4.6* CentOS 5.0*</p>	<p>UNIXサーバエージェント</p> <p>Solaris (SPARC) 8, Solaris (SPARC) 9 HP-UX 11.0, 11i version1 Solaris 10*</p>

バージョン3.1の対応プラットフォームです。

*は順次対応予定です。

2008.5



ヌリテレコム株式会社

〒102-0083

東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル8F

Tel : 03-3512-2882 Fax : 03-3512-2884

URL : <http://www.nuritelecom.co.jp>

●NASCenter,Net-ADMIは、ヌリテレコム株式会社の登録商標です。●Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。●Linuxは、Linus Torvalds氏の登録商標です。●Asianuxはミラクル・リナックス株式会社の日本における登録商標です。●Red Hatは、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。●Turbolinuxおよびターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の登録商標です。●Sun、Sun Microsystemsは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。●Solarisは、米国Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。●Unixは、X/Open Company Limitedが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。●HP-UXは、ヒューレット・パカード社の商標です。●その他記載の社名、ロゴ、システム名、製品名は各社の商標または登録商標です。